

漢検生涯学習ネットワーク 会員通信

- 第1回研修会開催報告 1
- 第2回研修会聴講者・発表者募集 3
- 特集 最高峰1級への挑戦 4
- エッセイ 片仮名のような文字たち 7
- お知らせ 投稿募集 8

第1回

会員向け研修会 開催報告

6月26日(日)に東京の日本青年館ホテルにおいて、第1回会員向け研修会を開催しました。120名の会員が参加されました。

講演の部では、白百合女子大学文学部教授の山本真吾先生に「漢字研究の現場から—漢字・漢文に関する日本語研究の舞台裏—」のテーマでお話いただきました。

また、会員発表の部では、新潟県の橋立英樹さんと福島県の八重樫一さんに発表いただきました。

■ 講演の部 ■ 要旨

漢字研究の現場から

—漢字・漢文に関する日本語研究の舞台裏—

白百合女子大学文学部教授

山本真吾先生

漢検の1級・準1級の問題には、表外字の読み方や国字、故事・諺などがよく出題されます。これらの解答は、誰かの漢字調査研究の結果に裏打ちされているものなのです。では、日本語の中の漢字研究にはどのような領域があり、どのような調査が行われているのでしょうか。

漢字が中国から伝来する前、日本に文字はなく、外来の文字である漢字で日本語を書き表すにあたり、日本人は様々な工夫をしました。古事記を著した太安万侶は、歴史の叙述部分を和化漢文で記し、固有名詞や歌謡などを万葉仮名で記しました。和化漢文だけでは大意は捉えられても、細部までは正確に伝わりにくく、逆に入ると平仮名・片仮名が生まれます。

日本語における漢字研究には、「(1) 中国から伝来した文字や文章を理解する(読む)研究」と、「(2) 外国文字の漢字で日本語の言葉や文章を表現する(書く)研究」があります。(1)には、文字レベルでは中国伝来の漢字字体や字音、和訓に関する研究があり、



講演の様子

使いこなす)かの足跡を辿ることが、日本語における文字表記の歴史だと考えています。外来の文字を使用するために工夫や努力を惜しまない点は、日本人の改善精神に通じ、また、仮名文字を生み出した後も漢字と併用することで両者の良さを活用してきた点は、日本人が和洋様々な文化を取り入れて生活する点に通じるところがあると感じます。

— 実際の漢字資料*の観察を模擬体験 —

漢字片仮名交じり文からは、どのように漢字で日本語の文章を表現しようとしたのかを読み取ることができます。また、訓点資料からは、日本人がどのように外国語である漢文と格闘したかがわかります。このような細かな洞察から、私たちの祖先が漢字を身近な道具として使用してきた様子を垣間見ることができます。

漢字研究は地道な研究を重ねて深化します。検定の学習で必要な漢字の知識もこうした研究から生まれてきているということが体感し、関心を持っていたければ幸いです。

*[資料]

- 漢字片仮名交じり文 鈴鹿本『今昔物語集』(鎌倉時代中期頃写、巻第一十七第四回)
- 訓点資料(正宗敦夫文庫本『長恨歌伝』正安二年・1300)書写加点本

1961年生まれ。広島大学大学院文学研究科国語学国文学専攻博士課程後期退学。博士(文学)。著書に『平安鎌倉時代に於ける表題・願文の文体の研究』(汲古書院)。

講師紹介

文章レベルでは漢文訓読の研究があります。(2)には、文字レベルでは日本での漢字の字体・字音の研究だけでなく、万葉仮名や国字の研究も含まれます。文章レベルでは和化漢文や仮名交じり文の研究があります。私はこれらを「ひねり」と「かさね」という言葉を用いて説明しようとしています。中国から伝来した漢字をいかにひねり(万葉仮名や国字・仮名などを生み)、重ねる(漢字・仮名を合わせ用い、多様な字音を使

第1回 会員向け研修会 開催報告

会員発表の部

要旨

解剖学から見た漢字

—漢字に秘められた古代中国人の叡智—

新潟県

橋立英樹さん

新潟漢字同好会副会長・平成16年度文部科学大臣奨励賞受賞



私は病理医の傍ら、漢字の勉強をしています。医学用語には難読漢字も多々、漢字と医学は実はとても深く関係しています。

漢字は古代中国で出来た文字ですが、病理医の目から見ても、古代中国人の観察力は素晴らしいと言えます。例えば、「思」という漢字は、「田」の下に「心」と書きますが、元は「田」ではなく「囮」(シン・ひよめき)という字で、これは人間の赤ちゃんの頭蓋骨の形を現した漢字です。「囮」と「心」で「思う」の意を表したということは、古代中国人は西洋の哲学者が知るよりも前に、すでに「人間は脳で考える」ということを知っています。新生児の解剖もおこなっていたと考えられます。他にも人体の臓器を表す漢字の中には、実物を観察して描き表したのではないかと思われるものがいくつもあります。古代中国医学はまさに恐るべきです。

ウソを言わないとために

福島県 八重樫一さん

福島県漢字同好会 会長

東日本大震災では漢検協会や各地の同好会からお見舞いをいただき感謝しております。福島は地震、津波、原発被害に加え風評被害にも見舞われています。ぜひ、福島を観光し、福島のものを買ってください。

さて、私は白川静著の『字統』を読んで漢字の楽しさを知りました。面白さのお裾分けという気持ちからNHKカルチャーセンターへ「漢字講座」開設の話を持ち込みました。今年で開講6年目になります。他にも県内の公民館で講座を開催したり、地元テレビ局の番組の漢字コーナーに出演したりして「1級取得者の風評」を活かしています。

聴講者や視聴者にウソを

教えてはいけませんので必ず下調べをします。時に、

難しい質問や問い合わせができる対応に苦労することがあります。資格を活かす場

を自ら求めて作るということは、自分への自信や励みとなり、また勉強にもなる

のだと実感しています。



参加した会員の感想

(アンケートより抜粋)

■漢文を勉強したいと思っていましたので、本日の講義は大変ためになりました。これからも漢字を勉強したいと思います。

(埼玉県 60代 女性)

■大変興味深くあつという間の3時間でした。今後の漢字学習に役立て、早く1級合格できるよう頑張りたいと思います。

(神奈川県 20代 女性)

■普段生活しているだけではまず絶対に知ることができないであろうことを沢山聞くことができてよかったです。

(大阪府 20代 男性)

■専門的で難しい内容から身近な内容まで幅広くよかつたと思います。特に、山本先生の講義は大学の国文学の基礎講座みたいで懐かしく聞かせていただきました。

(栃木県 30代 男性)

■知らないことを知ることの楽しさを思い出しました。身近な日本語が地道な研究によって様々な謎が解かれて体系化されていることを知り、わくわくしました。

(東京都 40代 女性)

■第1回研修会は、聴講希望者多数によりやむをえず抽選させていただきました。落選された皆様にはお詫び申し上げます。第2回は9月23日(祝)に愛知県名古屋市で開催します。会員による発表も募集します。詳しくは本誌3ページをご覧の上、お申し込みください。

聴
講
者
・
発
表
者
募
集

第2回 漢検生涯学習ネットワーク会員向け研修会

- 日 時 ● 平成 23 年 9 月 23 日(金・祝) 午後 1 時 45 分～午後 5 時
(午後 1 時 15 分 受付開始)
- 場 所 ● ウインク愛知(愛知県産業労働センター)
愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38
- ア ク セ ス ● ①JR 名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面
徒歩 5 分
②ユニモール地下街 5 番出口 徒歩 2 分

- プロ グ ラ ム ● 講演 佐竹秀雄
(武庫川女子大学文学部教授、同言語文化研究所所長)
テーマ『図表で見る漢字と語彙の世界』

内容紹介

日本語において、基本的な道具である漢字と語彙は、どのような姿をしているのでしょうか。あるいは、それぞれどのような変化があったのでしょうか。過去の調査や研究のデータをもとに、それらの一端を、図表を使ってご紹介します。なお、お口直しならぬお耳直しに、雑学クイズも。



会員発表 2 名(発表は 1 人 30 分以内)

聴講者定員 ● 150 名

参加申込方法 ● FAX・郵送…同封の『研修会申込用紙』(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。

Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※参加当落については 9 月上旬に郵便もしくは Eメールにてお知らせします。

申込締切日 ● 平成 23 年 8 月 31 日(水)(協会必着)

研修会にて自身の研究発表をする会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?

発表時間は 1 人 30 分以内です。

発表希望者は、同封の『研修会申込用紙』の発表希望者の項目に必要事項を記入し、発表したい要旨(A4 用紙 1 枚以内)を添付して FAX もしくは郵送でお送りください。Eメールの申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。発表希望者多数の場合は選抜させていただきます。当落の結果は、9 月上旬にお知らせします。

研修会についての
お問い合わせ先

郵送 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398

財団法人日本漢字能力検定協会 漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8311

Eメール lifelong@kanken.or.jp

特集

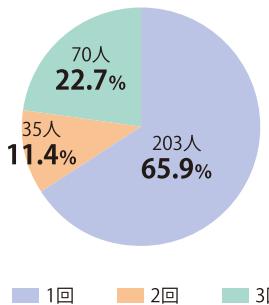
最高峰1級への挑戦

●過去5年間の漢検1級の受検データ

	志願者数	受検者数	合格者数	合格率
平成18年	4,488人	3,564人	417人	11.7%
平成19年	5,155人	4,013人	316人	7.9%
平成20年	5,643人	4,558人	615人	13.5%
平成21年	4,233人	3,533人	713人	20.2%
平成22年	5,013人	4,265人	483人	11.3%

過去5年間のデータを見ると、1級の合格率は、10数パーセント程度であることがわかります。

●平成22年度1級合格者の合格回数別人数



1級の合格率

実は、1級はリピート 合格者が多い！

平成22年度1級の 出題内容と正答率

平成22年度の1級合格者の結果を見ると、3回の検定でのべ483名の合格者がいました。その中で3回とも合格している方が70名、2回合格している方が35名。つまり、年間のべ483回の合格のうち280回分はリピート合格者が占めて

1級の対象漢字数は、準1級のそれに比べてほぼ2倍です。それだけたくさんの漢字を覚えるには、コツコツと知識を積み上げる努力が必要です。

当協会発行の情報誌『漢検ジャーナル』

※1にご登場いただいた、女優で1級合格者でもある宮崎美子さんや村井美樹さんが、それぞれ自身のノートに漢字や語句を書き出して勉強されていたという話も、記憶に新しいのではないでしょう。

ここで平成22年度第1回検定の分野別得点率を見てみましょう。合格者の平均はほぼすべての分野をまんべんなく80パーセント以上の得点率で推移しています。特に全体の平均に比べて高いのが、「語選択・書き取り」「熟語の読み・一字訓読み」

約6000字の漢字を対象とする漢検1級。漢字を学習する人たちが目指す最高峰は、毎年数百人程度しか合格者が出ないほどの超難関です。

漢検生涯学習ネットワーク会員の中でも1級取得者は20パーセント以下。会員登録のご案内をお送りしたところ、「現在1級に向けて挑戦中です。」「1級に挑戦したいけれど、難しくて…。」等のお声をいただきました。

そこで、協会に多く寄せられる1級受検を目指している方からの疑問や、1級に合格された会員の声をもとに1級への道にスポットをあててみたいと思います。

約6000字の漢字を対象とする漢検1級。漢字を学習する人たちが目指す最高峰は、毎年数百人程度しか合格者が出ないほどの超難関です。

漢検生涯学習ネットワーク会員の中でも1級取得者は20パーセント以下。会員登録のご案内をお送りしたところ、「現在1級に向けて挑戦中です。」「1級に挑戦したいけれど、難しくて…。」等のお声をいただきました。

そこで、協会に多く寄せられる1級受検を目指している方からの疑問や、1級に合格された会員の声をもとに1級への道にスポットをあててみたいと思います。

いることになります。もちろん、昨年度1回合格された203名の方の中にも、以前に1級に合格されている方がいますので、昨年度初めて合格した方というのはさらに少なくなります。

つまり、1級に初めて合格することを目指す方にとって、「超難関」といえるでしょう。

「対義語・類義語」です。いずれも漢字の意味まで理解していないと解答が導きにくい問題で、漢字の知識を応用できるところまで身につけられているかが問われています。

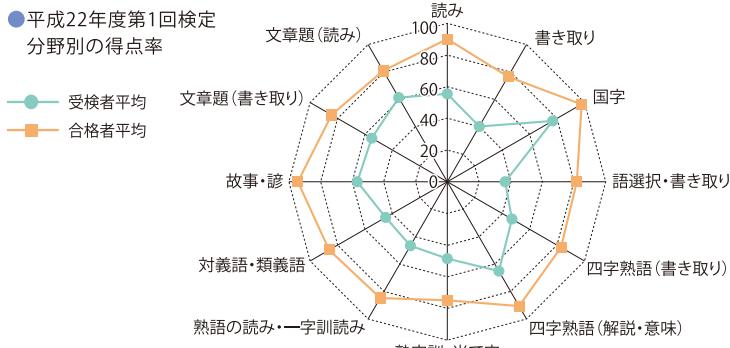
インタビュー

「漢字を語る会」楷の木 会長 海島 啓さん

漢検1級に55回連続※2で合格され、今後も記録を更新し続けることを目指していくつしやる海島さんに、1級挑戦の魅力やコツについて語っていただきました。

漢検に興味を持つたきっかけは

昭和55年に、古書街で協会発行の『1級漢字検定の手引き』を見つけてから漢検に興味を持ちました。趣味の短歌や俳句を作るにあたって、語彙の不足を痛感していたこともきっかけの一つです。昭和57年に初受検し、平成4年に漢検が文部省認定になってからは漢検1級に連続合格中です。



※出題内容は変更になることがあります。

※1 宮崎美子さんのインタビューは2010年秋号、村井美樹さんのインタビューは2011年春号に掲載

1級合格を目指す方たちへ一言

漢字は一人でも勉強できますが、とかく独学固陋に陥りやすいものです。同じレベルの方と学習を積むのが上達の秘訣です。ぜひ同じ目標を持つ仲間を持って学習に励んでいただきたいです。

※2 平成23年度第1回検定までの記録

漢字を語る会「楷の木」(神奈川県)

会員全員が漢検1級の高得点合格を目指す漢字同好会。全国に会員があり、月1回定例会の開催や学習資料の送付を行っている。平成23年から当協会の漢字同好会活動支援制度登録団体。「挫折を恐れずに飽くなき挑戦を繰り返す意欲旺盛な全国の方」からの会員募集中。

TEL ● 03-(3660-) - 194 (会長 海島)
お問い合わせ
メール ● utyakonk@icom.home.ne.jp (菊地)

最高峰1級への挑戦

1級合格者のお薦め勉強法を紹介！

私の勉強法は、協会発行の『漢字必携一級』や『四字熟語辞典』をひたすら書き写す方法です。1級の出題範囲は600字と広いので、抽出された問題集を何度もやるよりも、全範囲を網羅することが大事だと気がつきました。千里の道も一步からです。

(香川県 川瀧さん)

過去問及び市販の問題集をただ解くだけでなく、問題を自分なりにアレンジしてみると良いです。たとえば、読み問題で出た漢字を書きの問題に変えてみるとか。四字熟語では、出題の二文字の反対側の二文字、もしくは四文字すべてを書く問題にしてみるとか。類義語や対義語の問題では、選択肢の解答以外でも類義語や対義語があるか調べてみるのも勉強になるでしょう。

(埼玉県 藤本さん)

普段は辞書や問題集を片手に愚直に勉強するのが一番ですが、たまには好きな音楽を聴いて、漢字を覚えるのもお薦めです。歌詞の中で少し難しい漢字を使っているアーティスト(例えば、浜崎あゆみ、B'z、Mr.Children等)の曲を普段から聴いていると、問題を見ると同時に歌詞とメロディーが頭に思い浮かび、スラスラと解けるようになります。

(北海道 宮下さん)

協会発行の『完全征服1級』には、『漢検「1級」に挑戦する』のは、自分の漢字力、つまり国語(日本語)の世界を充実することなのであり、より文化的に向上する生活を目指した生涯学習の一階級である」とあります。難問ぞろいの1級ですが、出題される語句や文章から日本の歴史や文化へ思いを馳せることができると醍醐味もあります。今回の特集が、1級に 관심を持つていただくなれば幸いです。

平成23年度 (2011)

日本漢字能力検定 検定日程 個人受検(公開会場受検)

検定日

申込受付開始日

申込締切日(協会必着)

第2回

平成23年10月23日(日)

平成23年7月1日(金)

平成23年9月22日(木)

※ただし、書店での申込受付は平成23年9月16日(金)まで。
書店での支払い後、願書の郵送は平成23年9月22日(木)協会必着

第3回

平成24年1月29日(日)

平成23年11月1日(火)

平成23年12月22日(木)

※ただし、書店での申込受付は平成23年12月19日(月)まで。
書店での支払い後、願書の郵送は平成23年12月22日(木)協会必着

●申込締切日(協会必着)を厳守してください。

●申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料のお支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。

平成24年度からの 漢検審査基準変更について

常用漢字表の改定にともない、平成24年度第1回検定より日本漢字能力検定の審査基準を変更します。新しい審査基準は漢検ホームページに掲載していますのでご確認ください。なお、1級・準1級の対象漢字や主な出題内容に変更はありません。

※平成23年度第2回・第3回検定は現行の審査基準に基づいて実施します。

片仮名のような文字たち



佐竹秀雄

いきなりで恐縮だが、次の問題を考えてほしい。
問 「心臓」は漢字で、「こころ」は平仮名で書かれてい
る。では「ハート」は何で書かれているか？

もちろん片仮名と答えて間違いではない。ただ、少し
気になる点がある。確かに「ハ」と「ト」は片仮名だが、
「一」は、長音符号と呼ばれているものである。そうする
と、記号とか符号に分類されるので、厳密には片仮名で
はないということになるはず。一方、この「一」は、片仮名
のことばを表記しようとするとときには、なくてはならない
い存在である。実際に語を表記するときに使われている
場合には、その出自のことは無視されて片仮名と認識
されている。

このように、本来の生まれることは忘れられて、よそ
のグループの一員であるかのように見える文字はほかに
もある。

その一つが「リング」一ヶなどと使われる「ヶ」であ
る。時には小さく「ヶ」と書かれることもある。これらは
漢字のJISコードでも片仮名のグループに入っている。
だから片仮名だ、と言つて間違いないだろうか。し
かしながら、この文字の由來說で有力なのは、漢字「个」
である。読み方は「カ」「コ」、意味は、物を数えるときの
助数詞で、まさに「個」と同じような働きをする漢字で
ある。「个」を毛筆で書く場合、楷書体ではなく、崩して
書くと、文字の形は「ヶ」に似てくる。そのようにして使
われていくうちに「个」は忘れられ、「ヶ」として認識さ
れると考えられる。毛筆を使って書いたからこそ生じた
変化と言えよう。

もう一つ、「ケ」以上に複雑なのが「ム」という漢字の場
合である。片仮名「ム」と同じ形で、「ぐざる」と書くとき
に使われた。明治時代の文献にはよく見切つたがまし
で「ムラウ」というのが見られる。漢字字典を引けば、
「参」「纂」などの部首になつていて、意味は「わたくし」。
その読み方は音は「シ」「ボウ」「ム」で、訓の「ござる」は

「ござる」と読むのだなどと思われていたらしい。

日本で作られたものとある。現在では実際に使われてい
るのを見ることもないが、かつては片仮名「ム」と書いて
いた林大先生に、この理由を尋ねたことがある。林先生
は笑いながら「おそらく、御座ると書いた文字を極端に
崩していった結果なのだろうねえ」と答えてくださった。
「御座る→ム」という変化の結果、「ム」に「ござる」と
いう訓が生じたらしい。

毛筆という筆記道具は、よく使う文字に対して、それ
を簡略化したものに変形するという仕事をしばしば果
たしてきた。「年齢→年令」、「歳→才」「幅→巾」なども
そうである。そこには一種の省力化経済が働くのである。
ところで、先の「ム」を商品の名前に使つた人がいる。

日本酒で超高級な吟醸酒に「加乗ム」と名付けたのであ
る。読み方は「かじょうし」。名づけの意味を名づけた本
人に聞いてみた。すると、「加」は加減乗除の「加」で「十」、
「乗」は加減乗除の「乗」で「×」、「+」と「×」を組み合わ
せた形は「米」になる。したがって、「加乗ム」は「米でご
ざる」の意。要するに、酒の原料は「米」であり、「いい酒
を造るにはいい米が大事だ」という意味を込めて「米で
ござる」というわけだという。面倒なネーミングではあ
るが、こうした遊びのできるところも、漢字の魅力の一
つであろう。

佐竹秀雄
(武庫川女子大学文学部教授、同言語文化研究所所長)

1947年大阪府生まれ。国立国語研究所室長を経て現職。専
門は、現代語の表記論・文章論・言語行動論。

横書きの国語辞典『アリーコンサイス国語辞典』(三省堂)や、
五十音順の漢字字典『ディリーコンサイス漢字辞典』(三省堂)
など、大胆な手法の辞書を手がけた。
その他の著書に『サタケさんの日本語教室』(三省堂)、『文章を
書く技術』(ベレ出版)、『表記の教科書』(ベレ出版)などがある。

新刊紹介



160ページ
ISBN978-4385364803

定価¥2,000(税別)

—図解 日本の文字—
沖森卓也・笹原宏之
常盤智子・山本真吾 著
三省堂

文字はますます私たちの身近な存
在として格段にその重みを増してい
る。また日本語の文字表記は多様で
ある反面、多元的な歴史的背景を持
ち、複雑な点も少なくない。日本語の
文字や表記について不明な点を解決
したい、初步から学びたいという方に
向けて編集された一冊。

会員お薦めの書籍

日本語が亡びるとき
—英語の世紀の中での

筑摩書房 2008年

紹介者 新潟県 矢川さん

昨年1年間、20数年ぶりに国語教
諭として教壇に立つ機会を得た。手
にした新しい教科書には、自分が高
校生のときと同じ近代文学の作品が
なお変わらず採用されているのに感
慨を深めながらも、一方で多くの漢字
表記がひらがなに書き改められてい
るのを知つて嘆息しないわけにはい
かない。これを指して実は「日本
語はすでに虫の息」といえなくな
るからうか。本書は後半、明治以降急速
に近代化への歩みを進めた日本にあ
つて、日本語の探し方行く末を俯瞰す
る。さらに日本人の母語としての日本
語が他の言語に持ち得ようもない
すばらしい特性を持つ言語であるこ
とを著者は強調している。

※上記の書籍の購入は、お近くの書店もしくはインターネットでおこなってください。

会員通信への投稿募集中！

会員通信は、会員の皆様からの投稿で成り立っています。
皆様のご投稿をお待ちしています！

● 第3号特集企画（11月頃発行予定）

「漢検で培った漢字の知識を活かしています。」

1級・準1級の学習で得た知識を、普段どのように活かされていますか？普段の生活の中で漢字の知識が活かされたエピソードや、○○の仕事で役立った、ボランティアで地域の子ども達に漢字を教えているなど、みなさんのさまざまな経験談をお聞かせください。

字数・500字程度

● 常時募集

1級に初めて合格しました！

難関の1級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。以下の項目に沿って原稿をお書きください。

項目・①いつ合格したか

②何回目の挑戦での合格だったか

③合格に向けて工夫したこと（勉強方法等）、励みになったこと

④合格したときの気持ち・感想

⑤今後の目標

対象・平成22年度第1回（6月）～平成23年度第1回（6月）の検定で初めて1級に合格された方

字数・項目①～⑤まで500字以内

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記し、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

漢字に関するパズル・クイズ

子どもからお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。

例・漢字クロスワードパズル、子ども向け漢字クイズ（学習漢字のみ使用）難読漢字パズル等

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名（ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること）、電話番号を必ず明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。

※E-MAILの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2011年9月15日（木）（協会必着）

投稿先

郵送 〒600-8585
京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398
財団法人日本漢字能力検定協会
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8311
Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。
原稿はこちらで一部編集・校正することがあります。ご了承ください。



財団法人 日本漢字能力検定協会

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索

<http://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

月～金9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）
※検定日とその前日にあたる土・日は窓口を開設
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

